

6月の記録的な高温と今後の見通しについて

6月の日本の月平均気温は、統計を開始した1898年以降の6月として最も高くなりました。向こう1か月も引き続き全国的に厳しい暑さになる見込みです。気温の予報や熱中症警戒アラート等に注意して、適切な熱中症予防行動を取っていただくようお願いします。

今年6月は、日本付近への太平洋高気圧の張り出しが強く、日本の月平均気温の基準値からの偏差は $+2.34^{\circ}\text{C}$ で、これまでの6月の記録であった2020年の $+1.43^{\circ}\text{C}$ を上回り、統計を開始した1898年以降、最も高くなりました。地域別には、6月の地域平均気温平年差は北日本で $+3.2^{\circ}\text{C}$ 、東日本で $+2.3^{\circ}\text{C}$ 、西日本で $+1.8^{\circ}\text{C}$ で、いずれも統計を開始した1946年以降の6月として歴代1位の高温になり、全国153の気象台等のうち122地点で、月平均気温が6月として歴代1位の高温になりました（6地点のタイ記録を含む）。また、日本近海の6月の平均海面水温の平年差は $+1.2^{\circ}\text{C}$ （速報値）となり、統計を開始した1982年以降で、2024年と並んで6月として1位タイの記録となりました。

今後、7月も引き続き太平洋高気圧が日本付近に強く張り出し、7月前半は全国の広い範囲で最高気温が 35°C 以上の猛暑日が予測され、その後も全国的に高温となり厳しい暑さになる見込みです。熱中症の危険性が高い状態が続きますので、気温の予報や熱中症警戒アラート等に注意して、適切な熱中症予防行動を取っていただくようお願いします。

6月の平均気温など、関連する資料につきましては別添をご覧ください。

問合せ先：

（日本の天候について）

大気海洋部気候情報課 異常気象情報センター 及川

電話：03-6758-3900（内線4548）

（日本の平均気温の長期変化傾向について）

大気海洋部気候情報課 高橋

電話：03-6758-3900（内線4542）

（各地の観測データや統計について）

大気海洋部観測整備計画課 梶田

電話：03-6758-3900（内線4270）

（日本近海の海面水温について）

大気海洋部環境・海洋気象課海洋気象情報室 戸川

電話：03-6758-3900（内線4785）